

第五次長野市地域福祉計画 の骨子（案）について

令和8年8月17日

第2回 長野市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会

会議等の開催経過

開催日	会議等名称	主な内容
令和7年 5月30日	令和7年度 第1回 社会福祉審議会本会 地域福祉専門分科会	・社会福祉審議会本会へ「第五次長野市地域福祉計画の策定について」を諮問 ・地域福祉専門分科会へ付託
7月～9月	住民自治協議会へヒアリング実施	第四次長野市地域福祉計画 中間評価のためのヒアリングを実施
令和8年 1月29日	令和7年度 第2回 地域福祉専門分科会	第四次長野市地域福祉計画の中間評価 第五次長野市地域福祉計画策定方針
5月22日	令和8年度 第1回 地域福祉専門分科会	第五次長野市地域福祉計画の策定について
6月9日	第1回第五次長野市地域福祉計画策定 市民企画作業部会	・第五次長野市地域福祉計画策定について ・第四次長野市地域福祉計画と中間評価の概要について ・グループワーク「第四次計画の中間評価を踏まえた課題の深掘り」
7月6日	第2回第五次長野市地域福祉計画策定 市民企画作業部会	グループワーク「5～10年後こんな地域になったらいいな」
7月29日	第1回 長野市地域福祉庁内推進会議	第五次長野市地域福祉計画の策定について
8月7日	第3回第五次長野市地域福祉計画策定 市民企画作業部会	・第五次長野市地域福祉計画基本目標(案)について ・グループワーク「何をしたら基本目標(案)に近づけるかな」
8月17日	令和8年度 第2回 地域福祉専門分科会	第五次長野市地域福祉計画の骨子(案)について

【基本目標（案）策定までの流れ①】第1回作業部会では、第4次長野市地域福祉計画の中間評価を共有したあとに、日ごろから課題だと思うこと・感じていることを出しました。

作業部会メンバー

- ・住民自治協議会
- ・障害者支援団体
- ・居場所づくり実践者
- ・日本語教室代表
- ・NPOこどもの城（災害分野）
- ・生活就労支援センター など

38名

第1回作業部会 わたしたちが日ごろ課題だと思うこと・感じていること	
第1回作業部会ででた主な意見 意見を付箋に書いて共有し、164枚の付箋が出された	主な課題テーマ 中間評価報告書第6章(1)地域福祉にかかる主な課題 ①～⑤（P54～55）のテーマごとに分類
高齢化/孤立/独居/一人暮らし高齢化/高齢化による 担い手減少/移動手段/交通機関不足	①高齢化の進行とひとり暮らし世帯の増加
世代間交流必要/居場所/子供の企画あれば人が集 まる/小中学生の学校以外の居場所/子供がカギ/サロ ン参加はいつも同じ人/新しいポジティブな取り組みを/ 子供のころの体験が地域活性化のもと	②つながりの希薄化
貧困化の加速/コミュニケーション不足で困りごとがわから ない/把握手段がない/見守り安否確認/外国人増えて きた	③支援ニーズの高まりと把握の困難さ
地区役員成り手不足/役員・組織の課題/新しい活動 /担い手不足/多様性/新しいヒント・工夫/認知症/少 子化により地域の活性化がない	④地域活動・支援活動の担い手不足
相談窓口へのつながりやすさ/市・社協は地元より相談 しやすい/個人情報共有が難しくケアマネ・民生委員と 連携とれない	⑤相談支援や連携・情報共有にかかる課題

【基本目標（案）策定までの流れ②】第2回作業部会では、第1回作業部会でまとめた5つの課題テーマごとに「こんな地域になったらいい」というグループワークを実施しました。その内容をもとに、共通する考え方で整理・分類し、3つの基本目標にまとめました。

第2回作業部会テーマ	【わたしたちはどんな地域を目指すのか】 第2回作業部会ででた主な意見（発表内容等より）	【こんな地域をつくるにはどうしたらいいか】	
		事務局で整理した視点	基本目標（骨子案）
第2回作業部会テーマ ①どんな地域なら高齢化・一人暮らしでも安心して暮らせるか ②どんな地域ならつながりができるか ③どんな地域なら支援ニーズを把握できるか ④みんながやる気を出す地域活動とはどんなものか ⑤どんな地域なら地域資源が連携できるか	①ひとりでも、安心して暮らせる地域 地域密着の相談できる場がある/家族がいなくても暮らせる仕組み（生活支援・終活支援など）/移動手段が確保できる	②と④を「地域での支え合いを生む視点」で整理	お互いに思いやり支えあう地域づくりを進める
	②多様なつながりができる地域 多様な関係者との連携をつくる/つなぐ人がいる/多様なつながりができる居場所がある/多様な情報発信ができる/学校と地域の連携、関係ができている/若い世代が関われる企画がある	①と③を「個人の暮らしを守る視点」で整理	誰もが自分らしく、安心して暮らせる生活を支える
	③困ったことがキャッチできる地域 潜在化しがちな生活課題や困りごとが把握できる体制がある/関係者が集まって情報交換やケース検討などの会議が定期的に行われている/地域の中に相談しやすい場や人がたくさんいる/ほど良い距離で関わり続ける人がいる/活動者が相談できる場所がある/専門的な支援だけでなく地域とのかかわりを支援する場や人がいる		
	④みんながやる気で地域活動に取り組んでいる地域 自分の楽しさから人の楽しさを生み出す活動への転換/関心のあるテーマでの企画/歴史資源を活用した取り組みと健康づくりを一体化した取り組み/地域間交流で地域にないものを補う活動の展開/趣味の活動からボランティア活動へ		
	⑤地域の資源（ヒト・モノ・コト）が連携し、生かされている地域 ニーズと社会資源をつなぐ取り組みの開発/地域の資源を活かした居場所づくり/人材の発掘/関係機関が連携した協働の企画の実施/各団体の取り組みをオープン化し連携を取りやすくする	⑤を「ヒト・モノ・コトが連携し、生かされている視点」で整理	包括的な支援に向けた体制・仕組みをつくる

基本理念

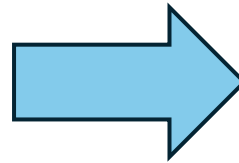
一人ひとりが自分らしくいきいきと、安心して暮らし
ていけるように、認め合い、支え合い、活かし合いな
がら共に生きていく地域社会 ※第4次計画からの踏襲。

基本目標（案）	基本施策（案）	包含する主な施策・支援例
1 お互いに思いやり、支え合う地域づくりを進める	1-1 地域福祉を推進する体制の再構築	・ 地区地域福祉活動計画の見直し、改定
	1-2 地域福祉を推進する担い手や資源の創出	・ ボランティア活動への参加促進
	1-3 学び合い、共に育つ「福祉共育（教育）」の推進	・ 学ぶ場の充実、意識啓発
	1-4 地域社会とのつながりの維持・創出	・ 交流活動の実施
2 誰もが自分らしく、安心して暮らせる生活を支える	2-1 地域で見守り、地域で支える体制の充実	・ 地域たすけあい事業等
	2-2 災害時の安全・安心の確保	・ 避難行動要支援者への支援 ・ 安全・安心な避難生活の確保
	2-3 権利擁護の推進	・ 暴力・虐待防止対策の強化 ・ 差別・偏見をなくすための取組の推進
	2-4 生活困窮者の自立支援	・ こどもの貧困対策の充実 ・ 就労支援、生活支援の充実
	2-5 成年後見制度の利用促進	・ 地域連携ネットワークの強化 ・ 身寄りのない高齢者等への支援
	2-6 再犯防止対策の推進	・ 就労・住居の確保のための取組 ・ 特性に応じた効果的な指導の実施
	2-7 福祉サービスの充実と質の向上	・ サービス事業者への指導・助言等
3 包括的な支援に向けた体制・仕組みをつくる	3-1 どんな悩みも「受け止め」「つなぐ」包括的な支援体制の整備	・ 重層的支援体制整備事業
	3-2 多様な主体が連携・協働する体制の構築・強化	・ 地域ケア会議、重層的支援会議等

第四次長野市地域福祉計画

基本目標

- 1 地域福祉を推進していくための基盤を強化する
- 2 一人ひとりの“思い”をつなげ、様々な担い手が有機的に連携できる仕組みを整備する
- 3 一人ひとりの“思い”を受け止め、支え合い活動や福祉サービスの充実を図る
- 4 すべての人の安全・安心な暮らしと人権・権利を守る



第五次長野市地域福祉計画（骨子案）

基本目標（案）

「地域での支え合いを生む視点」で整理

- 1 お互いに思いやり、支え合う地域づくりを進める

「個人の暮らしを守る視点」で整理

- 2 誰もが自分らしく、安心して暮らせる生活を支える

「ヒト・モノ・コトが連携し、生かされている視点」で整理

- 3 包括的な支援に向けた体制・仕組みをつくる

第四次長野市地域福祉計画

基本目標	基本施策
1 地域福祉を推進していくための基盤を強化する	1-1 地域福祉を推進する体制の再構築
	1-2 地域福祉を推進する担い手や資源の創出
	1-3 学び合い、共に育つ「福祉共育（教育）」の推進
2 一人ひとりの“思い”をつなげ、様々な担い手が有機的に連携できる仕組みを整備する	2-1 多様な主体が連携・協働する体制の構築・強化
	2-2 どんな悩みも「受け止め」「つなぐ」包括的な支援体制の整備
3 一人ひとりの“思い”を受け止め、支え合い活動や福祉サービスの充実を図る	3-1 地域社会とのつながりの維持・創出
	3-2 地域で見守り、地域で支える体制の充実
	3-3 福祉サービスの充実と質の向上
4 すべての人の安全・安心な暮らしと人権・権利を守る	4-1 災害時の安全・安心の確保 被災後のコミュニティ支援
	4-2 生活困窮者自立支援の充実
	4-3 成年後見制度の利用促進
	4-4 権利擁護の推進
	4-5 再犯防止対策の推進

第五次長野市地域福祉計画（骨子案）

基本目標（案）	基本施策（案）
1 お互いに思いやり、支え合う地域づくりを進める	1-1 地域福祉を推進する体制の再構築
	1-2 地域福祉を推進する担い手や資源の創出
	1-3 学び合い、共に育つ「福祉共育（教育）」の推進
	1-4 地域社会とのつながりの維持・創出
2 誰もが自分らしく、安心して暮らせる生活を支える	2-1 地域で見守り、地域で支える体制の充実
	2-2 災害時の安全・安心の確保
	2-3 権利擁護の推進
	2-4 生活困窮者自立支援の充実
	2-5 成年後見制度の利用促進
	2-6 再犯防止対策の推進
	2-7 福祉サービスの充実と質の向上
3 包括的な支援に向けた体制・仕組みをつくる	3-1 どんな悩みも「受け止め」「つなぐ」包括的な支援体制の整備
	3-2 多様な主体が連携・協働する体制の構築・強化

今後の予定

開催日	会議等名称	主な内容
9月11日	第4回 第四次長野市地域福祉計画策定 市民企画作業部会	
9月下旬	第2回 長野市地域福祉庁内推進会議	第五次長野市地域福祉計画(素案)について
9月29日	第3回 地域福祉専門分科会	第五次長野市地域福祉計画(素案)について
10月下旬	第3回 長野市地域福祉庁内推進会議	第五次長野市地域福祉計画(案)について
10月28日	第4回 地域福祉専門分科会	第五次長野市地域福祉計画(案)について
12月1日	パブリックコメント実施	
令和9年 1月22日	第5回 地域福祉専門分科会	第五次長野市地域福祉計画(案)について
3月	3月議会 報告	